



高知県北川村役場
広 報

またがわ

12

No. 628

Dec 2018



11月17日(土) 中学校文化発表会

Contents

学校通信	2~3
議長杯	4
中岡慎太郎先生顕彰会	6
日本遺産	7
国際交流員アシュリーシェパード	8
モネの庭からのお知らせ	9
各種お知らせ	18
保健便り	19

北川村の人口・世帯数

平成30年10月31日現在 ()は前月比

人 口	1,306人 (-8)
男	607人 (-4)
女	699人 (-4)
世帯数	625戸 (-2)
昨年同期の総人口	1,323人 世帯数631戸



小学校

1 「芸術・スポーツの秋」

運動会も終わった、10・11月。学校では子ども達が、各展覧会に向けた作品づくりに励みました。村展では、図画・硬筆・毛筆などの作品だけでなく、総合的な学習の時間の成果物や家庭科クラブ、高学年での家庭科授業で作成したエプロンやナップザックなども村民会館に展示されましたが、ご覧いただけたでしょうか。

どの作品も、心を込めて取り組んだものばかりでした。

また、10月に入りさわやかな風が吹く中、運動場では持久走大会への取り組みや、体育授業での中・高学年のリズム走(ハードル走)、走り幅跳びの学習が行われました。ハードル走では、50m走路の中に障害物を一定間隔で置き、その間(インターバル)をリズムよく走る心地よさを児童に味わわせるため、振り上げた足が障害物に当たっても痛くないようにするよう、段ボールでつくった手づくりのハードルを使用するなどの工夫もしながら授業を進めました。

1学期に行った体力・スポーツテストでは、これまで以上に体力・スポーツ能力の向上が見られました。子どもが持つ基礎的な体力やスポーツ技能に、体育の授業で行う各領域で付けたいいろいろな力(俊敏性や持続性、巧緻性、跳躍力や瞬発力、力づよさなど)をプラスし、次の学年につなげていくよう取り組みを進めています。



2 文化発表会 大成功! ～スローガン『歌とともに笑顔と感動を届けよう』～

心を合わせ一つの目標に向い、葛藤を乗り越え仲間と共に前に進むとすると、その集中力やまなざしは見る人の心を引きつけます。11月17日(土)に行われた本年度の校内文化発表会でもそんな場面がみられました。

北川中学校生徒会では「チャレンジ・エブリシング! ～すべてのことに挑戦を～」の合い言葉のもと、「頑張った経験」を重ねようと未知なる経験への挑戦を呼びかけています。この文化発表会でも「歌とともに笑顔と感動を届けよう」をスローガンとして、全校生徒の心で「襷(たすき)」を繋いだ校内駅伝大会の勢いそのままに、それぞれの学年が総合的な学習の時間の取り組みを発表し、全校合唱で感動的な歌声を響かせるなど、日頃の取り組みの成果を披露しました。

午後からは高校2年生のエレクトーン奏者826askaさんによる演奏会が開かれ、両手で旋律を、同時に両足で打楽器系のリズムを奏で、オーケストラそのままの迫力ある演奏に会場の視線はaskaさんに釘付けになるなど、その音色に圧倒され感動溢れる雰囲気になりました。また、音楽の魅力や、ステージの前には極度に緊張することなど、普通の高校生としての飾らない素顔も語っていただきました。

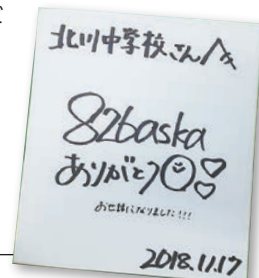
生徒からも、本物に触れた感動はもちろん、自分たちと年齢の近いaskaさんに親近感を抱き、帰路に就く間際まで生徒と語り丁寧にサインする気さくな人柄や、その向上心に自分を重ねる感想も多く見られ、午前中の発表とともに心に残る一日となりました。

「取り組みの過程が人の心を育てていく」、本校のこの新しい伝統を今後も引き継ぎ、中学生という多感な時期に「絆の中に自分がある喜び」を更に感じて欲しいと願っています。

運営等に不備や至らぬ点もありましたが、それもふまえて保護者・地域の皆様には温かなご声援をいただくなど、高い評価を賜りました。生徒会・教職員一同心より感謝申し上げます。

826askaさん

福井県在住：高校2年生。母親の影響で5歳からピアノを習い始め、8歳から電子オルガン教室に通い父親の発案で、YouTubeに定期的にカバー曲を投稿。スター・ウォーズのメドレー動画が『謎の日本人女性による完璧なカバー』と英メディアに取り上げられ一躍脚光を浴び、世界中で話題に。そこから国内のテレビ番組でも紹介されるなど、全国各地にファンの輪が広がっています。



第38回 北川村議長杯ソフトボール大会開催

第38回目を迎えた北川村議長杯ソフトボール大会が、北川小学校グラウンドで10月29日から11月1日まで開催されました。

6チームの参加があった本年も、A・Bゾーンに分かれリーグで予選を行い、それぞれ全勝で勝ち上がった「建設」と「役場」が決勝戦をおこないました。序盤から「建設」の打線が繋がり、大量得点を得て見事優勝しました。

また、3位決定戦では「郵便局」が「JP」に勝利しました。

参加された選手及び関係者の皆さん大変お疲れ様でした。



試合結果



優勝

建設

準優勝

役場

第3位

郵便局

優勝した▶
建設チーム



県民スポーツフェスティバル2018開催!!

県民スポーツフェスティバル2018が県内各会場で行われ、北川村からは、クレ射撃と陸上、ボウリングに出場しました。

出場者は、日ごろ練習してきた成果を大いに発揮し、見事な成績をおさめました。入賞された選手の皆さん、おめでとうございます。

また、出場された選手の皆さん、大変お疲れ様でした。



クレ射撃 総合

第3位 北川村

クレ射撃 トラップ(団体)

第2位 浜渦 賢介 田所 謙二
岩垣 實男 田所 正弥

トラップ(個人)

第2位 浜渦 賢介

ボウリング フリーの部

第3位 柿原 昇

陸上3000m 70歳以上の部

第3位 山田 英忠

志・とさ学びの日次世代の 「志」応援コンクールにて 優秀賞受賞

Congratulation!!



北川小学校4年生が、総合的な学習の時間に「北川村温泉 ゆずの宿」を訪問し、見学や入浴、インタビューしたことをまとめ「かべ新聞」づくりに取り組みました。

小松美南さん、手嶋ともさん、安岡煌人くんの「かべ新聞」が、「志・とさ学びの日次世代の『志』応援コンクール」新聞部門で優秀賞に選ばれました。同学年児童が作成したあと2点も最終選考まで残り、まとめる力や表現する力が評価されています。

4年生は、更に学習を深め作り直した新聞を村内外25カ所に掲示しています。



高知大学出前公開講座

昨年に引き続き、今年度も9月18日(火)・9月25日(火)・10月2日(火)に村民会館研修室にて、高知大学出前公開講座が開催されました。

教育・生活習慣といった分野の講師陣を迎え、みなさん熱心に講座を受講されていました。特に第3回目の子供の育ちと地域では、グループワークが行われ、世代を超えた交流と意見交換でき、家庭の子育てや地域での子育てについての理解を深めていただくきっかけづくりができました。





中岡慎太郎先生顕彰会だより



特定非営利活動法人 中岡慎太郎先生顕彰会 ☎38-2413

151回忌 中岡慎太郎墓前祭

十一月十七日。中岡慎太郎の命日であるこの日、慎太郎の故郷である柏木にて『151回忌中岡慎太郎墓前祭』を開催しました。遺髪墓前にて神事を執り行い、たくさんの方々が御参列くださいました。

毎年、墓前祭には、慎太郎が龍馬と襲撃に遭ったその夜に食す予定だったと云われている軍鶏鍋を用意します。慎太郎を偲びながら、お越しいただいた皆様と頂く軍鶏鍋は、普段より、一味も二味も違う気がします。



同日午後からは、中岡慎太郎館駐車場にて『土佐おもてなし海援隊』によるステージショー、慎太郎館豊田学芸員とのオリジナル企画『志士の手紙朗読と解説ショー』を開催し、例年とは違う層のお客様で柏木が賑わいました。

志士が朗読した手紙は実際に遺されている手紙です。

その手紙の内容を豊田学芸員が、書かれた時の時代背景や志士の心情、特徴を解説していったのですが、メンバーとのやり取りを交えながら解説していくので、とても分かりやすく、お客様から大変好評でした。



手紙をたくさん書いて遺した龍馬とは違い、「大事な事は会ってから」と、文字に残さず慎重を期したが故に多くの手紙を遺していない慎太郎の性格、特徴を魅力的に語る豊田学芸員の解説には会場のお客様だけでなく、朗読した『おもてなし海援隊』メンバーの中岡慎太郎さんも惹きこまれるように聞き入っておりまして。

慎太郎生家では、村の地域おこし協力隊の中村さんが「慎太郎茶会」と題し、抹茶接待で来場者をおもてなししてくれました。

慎太郎の生まれた地に建つ生家で慎太郎を偲びながらお茶をいただく、というほかでは体験できない催しに、参加したファンの方々から「ここでお茶がいただけるとは思ってもいなかったの、本当に嬉しいです!」と主催側が嬉しくなるお声もいただきました。

これまで開催してきた「抹茶接待」で最も多くの参加者があり、雰囲気作りからおもてなしの方法など、協力隊の中村さんの慎太郎さんへの想いがあったからこそ、と感じております。

『土佐おもてなし海援隊』ファンの方が多かった事もあり、各年代層の女性達が入れ替わり立ち代わり慎太郎の墓前に参拝してくださる光景はこれまで

見た事がなく、新鮮であり、とても嬉しい光景でしたし、慎太郎の命日に生誕地柏木に多く

の方がお越しくださって賑やかに

お過ごしいただいたその

様子をきくと慎太郎さんも嬉しく見守っておられたと感じております。

たくさんの方々のご協力があり、本年も無事に執り行うことができました。

心より御礼申し上げます。



中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会

～中芸地域の日本遺産魅力発信便り vol.17～



JAPAN HERITAGE

日本遺産

日本遺産

Story #051

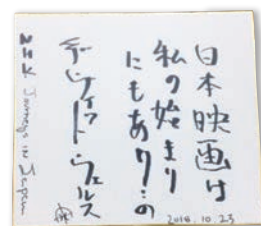


中芸の魅力が国際放送で流れます！

10月21日(日)から10月26日(金)の6日間、中芸5町村をNHK WORLDさんの旅番組「ジャーニーズ・イン・ジャパン」の中芸の日本遺産やその文化の撮影が行われました！海外向けに外国人リポーターが外国人の視点で日本の魅力を発見する番組で、リポーターとしてアメリカ出身の和食のシェフであり陶芸も行う「デイヴィット ウェルス」さんが訪れました。

まずは田野町大野台地でオープニングや夕陽の撮影を行い、その後は安田町のゆず農家さんのご自宅で田舎寿司を作らせてもらったり大心劇場さんを巡り、北川村ではフランスへ輸出するゆずの園地や実生の古木、馬路村では馬路温泉でゆず風呂に浸かったり馬路農協さんで加工場を見学、奈半利では当時の名残を残す町並みを巡りました。また、明神口橋や五味隧道など中芸各地の森林鉄道の遺構を巡り、馬路村魚梁瀬丸山公園で復元をした野村式機関車に乗り、当時の森林鉄道を感じてもらう事ができました。

国際放送ということもあり、日本で放送されるかは未定ですが、海外での放送は2019年2月を予定していて、ホームページでは1ヶ月ほどに渡って公開されます。



中芸みんなの日本遺産 第2回 ゆず鉄5 開幕

中芸の魅力をギュ—ット詰め込んだイベント「ゆずFeS」が11月11日に無事閉幕となりました。北川村では、オープニングを飾ったライブ「魚梁瀬杉の歌がモネに響く夜。」を開催。世界に一つしかない魚梁瀬杉ギターを元いちむじんの宇高靖人さんが演奏し、参加者の方はその温かい音色に酔いしれていました。この他にも、森林鉄道遺構を自然と一緒に体感する「ゆずロード温泉サイクリング A Go Go」も実施され、広がるゆず畑と随所にある森林鉄道の遺構を巡り、最後には北川村温泉でゆっくりと汗をながして、北川村の自然や景色を満喫されていました。

現在第3回ゆずフェスに向けた打ち合わせを行っています。開催は2月～3月を予定しています。情報は下記facebookやホームページで更新しておりますので、まだ知らない中芸の魅力を体験しに来てください！



中芸みんなの日本遺産 ゆず鉄5 であなただけのイベントをつくろう！

ゆずフェスというイベントをご存知でしょうか？中芸地域の資源を使った、小さなプログラムを短期間であつめて開催します。過去には「こんにゃくづくり体験」や「ダム見学ツアー」など中芸の魅力を詰まったプログラムを開催しています。あなたのやってみたいことはありませんか？「第4回ゆずフェス」が来年8月ごろを予定しています。誰でも自分だけのプログラムをつくる事が出来ます！お気軽に下記お問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ ——— 中芸のゆずと森林鉄道
日本遺産協議会事務局(中芸広域体育館内)
☎0887-30-1865
Mail:yuzurintetsu@mk.pikara.ne.jp

Facebookが新しくなりました。
ログインはこちらから→

facebook





国際交流員 アシュリー・シェパード

Happy Halloween!!

みなさんこんにちは!秋が始まりましたね。海外では、秋は感謝祭(Thanksgiving)があります。感謝祭とは大事な人に感謝していることを伝えるという祝日です。現在の感謝祭では、お祝いするために友達と家族と一緒に食事をします。

しかし、カナダとアメリカの感謝祭の始まりは全然違います。アメリカの感謝祭は11月の第4木曜日、カナダは10月の第2月曜日です!しかし、感謝祭の活動内容も食べ物も同じです!大きい七面



鳥、マッシュポテト、スタッフィング、野菜…それと、もちろんパンプキンパイを食べます!美味しそうですね!

感謝祭以外にもう一つのお祭りがあります。それはもちろん…ハロウィーンですね!外国人はやっぱりハロウィーン



ンが大好きで毎年お祝いしています。友達と一緒にパーティーをしたり、コスチュームを着たり、キャンディを食べたり、とても楽しい祭りです。

でも皆さん、ハロウィーンはいつどこで始まったのかは知っていますか?実はハロウィーンは2000年前、アイルランドで始まった、とても古い伝統です。その時、ケルトと言う名の民族がアイルランドに住んでいて、毎年10月31日、とても特別なことが起こると信じていました。それは、31日の夜だけは死んでいた人々の魂がこの世に現れることでした。でもケルトの

人達にとってそれは怖いことではなく、亡くなった家族と友達とまた会うチャンスでした!

この伝統は1000年も続きました
が少し変更がありました。良い幽霊
だけではなくて、悪い幽霊もいると
信じ始めました。それで2つの新しい
伝統が生まれました。1つ目は悪い
幽霊に見られないように同じような
服を着てカモフラージュをすること
でした。それと、2つ目は全部の幽霊
を沈めるためにお菓子を家の外に置
くことでした。今の時代の人々はあま
り幽霊のことを信じていませんが、



今の海外ではその2つの伝統はまだ残っていて毎年楽しいハロウィーンをします。

なので、中芸の国際交流員の皆よりハッピーハロウィーン!

モネの庭のお知らせ



～光のフェスタ in モネの庭 2018～

今年は高知県内いろいろな場所で光にまつわるイベントが開催されています。モネの庭では、冬の恒例イベントとなりました「光のフェスタinモネの庭2018」を開催中です。

ライトの数も昨年より増やし、木々のライトアップだけでなく、いろいろな趣向をこらした光の風景をお楽しみいただけます。光に彩られた幻想的な庭でゆっくりとお楽しみください。

☆12月23日(日)は「光のフェスタ祭」。出店や音楽ライブが楽しめます。
☆12月23日(日)・24日(月)にはクリスマスフルートコンサートを開催します。

◆開催期間：11月23日(金祝)～12月24日(月休)の
期間の土・日・祝日

◆ライトアップ時間：17:00～21:00(最終入園20:30)

◆入園料：一般700円
小中学生300円
(カフェディナー営業しています)



☆詳しくはホームページをご覧ください。



シュヴァリエ川上の 冬のガーデニング教室 (プレミアムランチ付き)～予約制～

— 画家の愛した庭で極上のひとときを。

クリスマスやお正月を彩る寄せ植えを「モネの庭」で作ってみませんか?フランス文化勲章《シュヴァリエ》を受勲した庭園管理責任者の川上裕が寄せ植えを指導いたします。



クリスマスやお正月を彩る、寄せ植えづくりませんか?

☆12/16(日)はガーデニング初心者の方を対象に、花の選び方や管理方法など丁寧にご指導いたします。この機会に始めませんか?

ガーデニングの後は【カフェ モネの家】にて参加者限定のプレミアムランチをご用意しております。



ガーデニング教室限定のプレミアムランチ

そちらもどうぞ、合わせてお楽しみください。

- ◆開催日：12月15日(土)、12月16日(日)
- ◆開催時間：10:00～13:00(受付9:30～)
- ◆参加費：5,500円
- ◆定員：各日40名

【お問い合わせ・ご予約】

★FBで日々の庭情報発信中。
ぜひご覧ください！

北川村「モネの庭」マルモッタン
〒781-6441 高知県安芸郡北川村野友甲1100番地
☎0887-32-1233 ☎0887-32-1243
<http://www.kjmonet.jp/> 定休日：毎週火曜日

地域おこし協力隊日記



今年度より、「北川村マルシェ」は、生産者が主体となり、開催されていることをご存知でしょうか。主催の名称は「北川村マルシェ生産組合」と言います。私も運営に少し携わせていただいております。

内容は、前年度までと変わりはないのですが、毎回出展される生産者の方々が、この取り組みを残したいとの意思から、3ヶ月毎に会議を開き、取り決めや、今後の進め方等を話し合いながら頑張っておられます。

当初は、生産者の方々も、戸惑いの中、開催していましたが、今では、スムーズな運営がなされるようになっております。

1月には、昨年も行いましたが、お客様への感謝を込めて、会場にて餅つきを行い、無料で「ぜんざい」を振舞う予定としております。

毎月、案内放送も流れますが、今後も出展のご協力と、お買い物にもお越しください。

(北川村地域おこし協力隊 小松 智三)

公用携帯 080-2979-0690)



北川村温泉ゆずの宿が 「第16回高知県木の文化賞」を 受賞しました。

高知県木の文化賞は、県内の木材を使った構造物が自然に調和し、斬新な木造建築で、県が進める木の文化県構想に寄与したものに對し賞が授与されるものです。

北川村温泉ゆずの宿は、CLT(ひき板を並べた後、繊維の方向が直角に交わるように、積層接着した木質系材料)活用した初めての温泉施設であり、またCLTパネルを利用した新たな工法で1階に大きな空間の創出、そして、防音性能を高めているなどの点が、評価されました。

授与式は、10月20日(土)高知市の中央公園で開催されました「第1回もくもくランド2018」のオープニングセレモニーで開催されました。

村民の方々には、県からも評価されました北川村温泉ゆずの宿の温泉利用と共に木造建設もご覧いただければと考えております。



授賞式の様子 副村長



左から 鈴木副村長 倉橋設計池田氏 田邊建設会長

議 会 だ よ り

発行責任者
議長 岩垣 實男

平成30年

第2回議会臨時会

平成30年第2回議会臨時会は、9月4日に開会し、北川村一般会計補正予算、工事請負契約の締結についての議案の審議が行われました。

： 議 案 審 議 ：

平成30年度北川村一般会計補正予算(第4号)の専決処分の報告承認について(承認第1号)

全員賛成 (承認)

北川村あったかふれあいセンター小規模多機能施設新築工事請負契約の締結について(議案第1号)

賛成多数 (可決)

平成30年

第3回議会定例会

平成30年9月定例会は、9月18日に開会し、報告2件、補正予算2件、一般会計、各特別会計決算の認定他、13議案の審議が

行われました。

21日には、2氏が、一般質問を行い、閉会しました。

： 行 政 報 告 。（抜粋）



上村 誠 村長

■一連の災害について

この夏は7月に発生しました西日本豪雨にはじまり、各地に被害をもたらした台風20号及び21号、そして9月6日に発生いたしました北海道胆振東部地震など、全国各地で大きな災害が相次ぎました。お亡くなりになりました方々に心よりご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

■地方創生について

村民の皆様との対話集会を、7月から9月初旬までの期間で開催し、村内14箇所であわせて延べ118名の皆様にご参加いただきました。

対話集会では、国の想定以上に早い速度で人口減少が予測される中、村内の各地区

が存続するためにどうすれば良いのか、住民の皆様が主体的に考え、行動していただけるよう、訴えさせていただきました。

住民の皆様からは、ゆずの基盤整備に関するご提案や、災害時の避難行動に関するご意見をはじめ、地域の様々なご要望もいただきました。村民の皆様との対話を通じ、私が就任以来、繰り返し訴えてまいりました「今、何もしなければ地域が消えてしまいかもしれない」という危機感はある程度は共有できたのではないかと考えています。

■災害復旧事業について

6月から7月の西日本豪雨により林道竹屋敷線の路側が崩壊する被災を受けました。復旧に向け速やかに工事を発注いたします。

また、9月に接近した台風21号とその後の秋雨前線による豪雨により、村道西谷線の法面が崩落する被災を受けました。今後、国庫補助の承認を得るための準備を速やかに進めてまいります。

なお、過年度からの災害復旧事業につきましては、全て完了いたしました。

■防災・地震対策について

9月2日に実施いたしました村内一斉自主防災訓練では、12組織313名が参加し、避難訓練の後、防災学習会や放水、土のう作りなどの訓練を行いました。このうち小島地区では、自主防災会が新たに営業を開始した北川村温泉にお声がけいただき一緒に訓練に参加するなど、各自自主防災組織が工夫し、様々な状況を想定した実りある訓練が出来た、との報告を伺っております。

次に、個人住宅の耐震化につきましては、8月末日現在で耐震診断、耐震設計及び耐震改修いずれも3件の申込みとなっております。

■住民の移動手段の確保について

村営バスにつきましては、9月25日に北川村地域公共交通会議を開催し、災害対応の車両や通行止めなどにより、時間に余裕がない現在の運行ダイヤを10月上旬に改正するとともに、平日と土日祝日の時刻表を設定する予定としております。

■日本一元気な長寿村づくりについて

保健福祉関係では「日本一元気な長寿村づくり」を目指し、住民の方々の介護予防活動や健康促進、健康意識の向上に向けた取り組みを強化するため、本年度から新たに検診結果の説明会、運動教室及び栄養講座を開催しております。

■ふるさとたがわ寄附金について

今年の4月から8月末までの5カ月間の納税実績は、539件、4,238千円です。(前年度同期1,715件、12,237千円)と、寄付額、件数とも伸び悩んでいます。

これは昨年12月から国の指導により返礼品率を3割に下げたことが大きな要因と推察しています。

村といたしましては、ふるさと納税制度の本来の主旨に則り、優れた地域資源を発掘し、育てられるよう、引き続き魅力ある返礼品の企画を進めていきたいと考えております。

■第1次産業の振興について

「北川モデル」と呼ばれる基盤整備につきましては、宗ノ上、小島、二タ又、久江ノ上の4地区の計5.4haで農地中間管理権の設定が完了し、今月内に国へ事業申請を行う予定となっております。早ければ、10月下旬には国の認可を頂き、事業計画の策定及び実施設計に着手し、平成31年度の早い時期に着工できる見通しです。

野友地区の基盤整備につきましては、高知県安芸土木事務所から示された奈半利川河川堤防の整備計画を基に、県営圃場整備の採択基準10haの面積を確保し、早期に対象エリアを確定させるため、地権者の皆様との協議を進めております。地権者の皆様の同意をいただき、10ha以上の事業実施可能面積の確保が見込め次第、順次農地の購入を進めてまいります。

トンネルの残土を利用した和田田曾裏地区の園地造成につきましては、補償木の伐採が終わり、小島の道路災害復旧工事から発生するトンネルの残土の受入が8月から始まりました。

これらの基盤整備と並行して、担い手となる専業農家を育成し、北川村で新たに就農し、安心してゆず栽培ができる環境づくりを整えてまいりたいと考えております。

■観光の振興について

北川村温泉につきましては、6月26日のグランドオープン後、8月末までの日帰り入浴と宿泊者の合計利用者は5,164人となっております。オープン直後の西日本豪雨や相次ぐ台風により、多くの宿泊キャンセルが発生するなどの影響がありました。概ね目標どおりの数字となっております。

モネの庭の今年の入園者数は、豪雨等に

よる臨時休園や団体のキャンセルが発生したことも影響し、8月末日現在で49,243人(昨年同期55,170人)となっております。

■移住促進について

移住促進住宅の整備につきましては、今年度新たに整備予定の3軒のうち、久府付地区の1軒が9月上旬に完成しました。また、その他の2軒につきましても、12月中旬の工事発注を目指し、設計を進めてまいります。

地域おこし協力隊につきましては、現在2名が活動しており、北部地域のあったかふれあいセンターの活動では、隊員の特技を活かしたお茶のおもてなしや「きたがわマルシェ」への農産物の出品を支援するなど、地域の皆様のご協力により、目に見える活動につながりつつあります。

■共同社員寮の整備について

県などのご協力により検討を進めております「共同社員寮」の整備につきましては、事業に参画いただける企業や団体を募り、概ね建築規模が固まりました。今後、県住宅供給公社のご意見もお伺いし、候補地となる地権者との協議に着手したいと考えております。

■教育関係について

(保小中一体化、学校教育関係)

2020年度からの保育・小学校・中学校の一体的な教育の実現を目指し、今年度は15年間の系統的な教育カリキュラムの検討を進めています。

将来、北川村から子どもを無くさせないためには、村に暮らして通わせたい、と

思っていただけの学校を作り上げる必要があります。そのために「平均以上の学力、人間力を身につけられること」「北川村ならではの『強み』を活かした『北川学』を学べる環境を作ること」の2つの目標を目指していかねばなりません。

また、北川村ならではの強みを発揮できる教育の場を作るため、まずは中学校の部活である卓球の指導が軸となりますが、先々社会教育の一環として幼い子どもから社会人まで視野を広げた取組みができるよう、卓球の指導者を雇用したいと考えております。

(家庭教育関係)

社会教育では昨年度に引き続き、「高知大学出前公開講座(全3講座:9/18・9/25・10/2)」を開催します。今年度は「子育て」をテーマに子どもの叱り方や地域と子育ての関係についてなど、高知大学の著名な講師陣による講座を予定しており、村民の皆様が子育てについて考える良い機会になると考えておりますので、ぜひ多くの皆様にご参加くださるよう、お願いいたします。

(中岡慎太郎関係)

「志国高知 幕末維新博」の地域会場である中岡慎太郎館の今年度8月までの入館者数は4,075人(昨年同期5,905人)となっております。

12月1日から9日まで「第29回中岡迂山記念全国書展」が開催されます。昨年に続いて、田野、安田の書画展と合同で開催することとしており、書画鑑賞を通じて、3町村の交流人口増加や観光客増加に寄与できればと期待しております。

■中芸広域連合関係について

以下の事業について報告

- ①消防救急業務
- ②介護保険業務
- ③火葬場業務
- ④保健福祉業務

■工事発注等の状況

本年度の工事関係(工事・委託業務)発注状況につきましては、9月4日時点で、

区分	総件数	発注件数	完了件数	発注率	完了率
繰越明許費	15	12	6	80%	40.0%
現年予算	19	9	2	47.3%	10.5%

今後とも引き続き早期完成に向けて事業の進捗を図ってまいります。

：一般質問：



濱渦 康雄 議員

教育について

問 保小中一体化教育について今の状況を問う。

答 村長

村の人口減少に歯止めをかけるためには子育て世代が、村で教育を受けさせたい

と思える施策が必要で、子どもが居なくならないため山村留学を実施することも方策のひとつと考えています。

子どもの数が一定数に満たなければ、村での教育は難しくなり、学校の機能が保持できません。

どのようにすれば子どもの数が確保できるのか、現状課題を克服しながら目標に向かって速やかに具体的に組み込まなければなりません。

このため、「何のための改革か」ということを意識し、①教育委員会、教職員、PTAなど関係者に対して、どの様な波をつくるのか、②誰もが分かる設計図をどう描くのか、という2つの課題について、教育委員会が描いて実行しなければならぬことと、教えるプロ集団である教職員の皆様に描いていただければならぬことに分類し、動かさなければなりません。現時点での進ちょく状況を協議し、現場には、保育、小学校、中学校一体化推進プロジェクトを明記した項目をクリアできるように教育カリキュラムなどの必要な物を作成していただくように依頼しているところです。

問 今の教育でできないことが何かあるのか。それを保育小中一体化により克服できるのか。1年生ギャップや落ちこぼれていくような子ども達を一体化教育で、完全に救えるのか。何をどうやろうとするのかを聞きたい。

答 村長

教育改革に対するプロジェクトに次の項目があります。

学力の向上、身体的な能力の向上、語学

力の向上、障がい問題等々。そうした課題をクリアして、県外からでも北川村へ来たい、北川村で学ばせたいということにならないといけないと思っています。

答 教育長

教育委員会が行うこと、教職員の皆様に行っていたことを説明します。急激な過疎少子化で現在では一番多い学年で9人、一番少ない学年が6人という状況になっていきます。このままでは、今後本当に子どもが減少して入学式、卒業式が無い年があると予測されています。

故郷への愛着と誇りを持ち、学ぶ意欲に溢れ未来を切り開く生きる力ある社会性豊かな子ども達を育むことが、保育、小学校、中学校で確認をしたテーマになっています。

小1プロブレム、中1ギャップといった発達段階における負担に戸惑う子ども達もいます。

例えば外国語教育、これは小学校と中学校を繋ぐものですけれども、2020年から小学校での外国語が教科化されます。

平成30年度から小学校では先行実施で5、6年生については週2時間の外国語活動の時間を取っています。

3、4年生についても週1時間の外国語の時間を取っています。

今まで中学校でやっていた外国語の授業が小学校へ降りてくるわけですから、どの段階まで小学校でやって、中学校へ行くのかという教科のつなぎも十分確認していく必要があります。

何よりも子どもの状況を書類や言葉で引き継ぐということではなくて実際に子

どもの状況を見ている、そういう機会を増やしていくということが今は一番大事な状況です。

他にも保育の年長と小学1年生を繋ぐ事業なども行っています。

まだ具体的になかなかお示しできるところがないというのが実際のところですが、県の補助事業を入れて、今連携を深めつつあるという段階です。

問 北川村で生まれて、北川村の保育園に入って、北川村の小学校へ行って、北川村の中学校へ行ってから、他校へ転校した子どもが、いると聞く。色々な理由があるのかと思います。これでは、北川村で学ぶ、誇りを持つというようなことには程遠いじゃないかと思う。両親の転勤ではなく、両親も北川村で生活している。家も北川村にあるのに北川村の子が他校へ転校した。

これでは、学校を守るとか児童を守るということにはならないと思うが、何か原因がなければそういうことは起こらないと思う。学校内か何かで、それを掴んできちつと指導ができたのか、子どもを守ってこういう姿勢を持って教育委員会が対応してきたのか聞きたい。

答 教育長

このお子さんの状況については、小学校以前から報告を受けていました。その都度、学校でもできる限りの対応はしてきまして、落ち度はないと思います。兄弟もあり、他の兄弟は北川村のほうで現在も登校していますが、本人と保護者がそうしたいという希望があり、教育委員会も、本人が登校出来ることが一番という判断をしま

した。

私達としても本意ではなく、できれば北川村でしっかり育てたかったという思いです。

問 なぜこの子を北川村できちつと守って教育ができなかったのかと思う。村長の考え、答弁を求める。

答 村長

私も北川の中学校を卒業するまでいて欲しいと考えています。

色々な事情で転校される子ども達、北川村へ来られる子ども達がいると思います。そうした子ども達がきちつと北川村の中で過ごしていける、育っていける環境を作らなければならぬと思っています。

一年一年積み重ねていった中で、中学校を卒業する時には、社会人として、あるいは高校に向けて生活できる、あるいは学んでいくというような基礎的なベースを育んでいける学校にしていきたいと思っています。

移住施策について

問 移住お試し住宅の利用状況を問う。

答 産業課長

運用から2カ月で、5件の利用申請があり、実際には4件、10名の方が利用し、うち1名は今現在も利用を継続している状況です。他は短期で2日ないし3日の利用となっています。

問 入居者のサポートや入居者の意見について問う。

北川村にどのような印象を持って帰られたのか。

入居者の生の声が、次の問題点や対応策の参考になると思うがどうか。

答 産業課長

アンケートはとっていません。サポートとしては村の移住相談員が、就農に関するアドバイスや村内の紹介をしています。

村長との対話集会について

問 今年から名称を村長との対話集会に変えたが、住民からどんな意見が出たか。

答 村長

今年から名称を変え、資料も全戸に事前配布させていただきました。形を切り替えてやったことに対しては良かったと思いますが、まだまだ検討するところもあると感じています。

今回は、安倉地区の山腹崩壊の影響で菅ノ上地区開催は、断念しました。

全体では、これまでと同様に中北部、あるいは西谷筋等につきましては、毎回のように参加率が高いですが、南部は低い状況です。

今回特に思ったのは、地域から近い未来、こういうふうにやりたい、あるいはこういうふうにならないかというご意見がありました。

そうした中で村の進む方向と、今地域に求められている環境というものをしっかりと考えた集会が必要だと感じました。今後どうしていくかをまだまだ検討する必要があります。来月には社協のほうに力を借りて、意見交換会を行う予定です。そうした

色んな形で出来る限り多くの村民の方の村の先々の姿はこういうふうな形で追い求めたいとお伝えすると同時にそうした方達がどういう意見を持っているのかを聞いていきます。

問 子ども議会の開催を提案したい。

今、子ども達がどういう事を考えているのか。大人だけでなく、子ども視点で意見を聞き、子どもが村長に質問をするということで、保護者も傍聴に来て、議会や執行部の答弁を理解してもらう一つの機会になると思うがどうか。

答 村長

先ほども答弁しましたが、出来るだけ幅広い層に意見を聞くべきだと思っています。実際に子ども議会という形が取れるかは、学校と協議して決める事ですが、是非、子どもの意見を聞く場というのは一度はやってみたいと思います。

また、そこへ保護者等が参加していただけるなら保護者とも意見交換ができますので検討したいと思います。

答 教育長

子ども達も学校の中で、総合的な学習等で地域のことも学んでおります。これは地域のことを知ることだけではなくて自分達の地域の将来を考えると、いう事でもありますので、子どもからの提案もあるかも知れませんが、そういった機会を設けるように調整をしていきたいと思っています。



尾崎 一マ 議員

平成30年度 村長との対話集会を終えて

問 今年度の村長との対話集会の総括について問う。

答 村長

国の想定以上に速い速度で人口減少が予測される中、村内各地区が存続するために住民の皆様も考え行動していただけるよう訴えました。

そのうえで北川村まち・ひと・しごと総合創生戦略で掲げた5つの基本政策と重点的取組みについて説明し、意見をいただきました。

ゆずの基盤整備に関するご提案や、災害時の避難等の意見や地域の様々なご要望もいただいたところです。

対話集会を通じて、今なにもしなければ地域が消えてしまうかも知れないという危機感には共有できたと感じています。

一方で政策の説明に時間を要し、住民の皆様が、すぐに意見や質問を発言できるような時間配分が必要だとも感じました。

また、いただきました意見は各地区の今の実状を反映したもので、将来に向けた村の取組みをどう議論していくかという難しさも感じております。

また、ご意見の中には一つの課だけでは解決できない課題もあり、今後、庁内横断的に取り組む必要がある課題への対応方

策も考えていく必要性を感じています。

問 出てきた意見等を踏まえ、今後基本政策にどう活かしていくか、今後の課題について各課に問う。

答 総務課長

防災住宅の耐震化、家具の固定金具の設置を中心に説明しました。

近年は毎年の様に地震が発生しており、個人や地域において地震災害への関心が、高まっていると感じました。

ただ今年の夏に限れば、住民にとっては地震以上に台風や豪雨による河川の洪水や土砂災害への危機感が強く、不安を取り除くために避難の呼びかけのタイミングや支援の仕方、訓練のあり方などについて地域の中に入って、小地域ネットワーク会などで対応していく必要があると考えています。

また、福祉的バスの周知が不十分だと感じました。運転免許証を返納した高齢者は外出する機会が少なくなる傾向にあると聞きます。利用していただけるよう社会福祉協議会と協力しながら対応を図っていきます。

答 住民課長

小規模多機能施設の運営や粗大ゴミ回収についての質問、意見があり、すぐに対応できるもの、今後検討を要するものを見極めて対応して行きます。

答 産業課長

園地の基盤整備について説明し、意見をいただきました。園地整備事業が地域住民の方にも伝わっていると、園地利用

や、活用について興味を持っていただいていると感じました。

今回の対話集会の意見を踏まえ、引き続きの園地整備を着実に進めていきたいと考えています。

答 建設課長

国道493号について、路面の損傷及び草刈りや通行規制時の周知方法など維持管理に関しての多くの要望をいただきました。

要望に答えていけるよう県と連携して対応していきたいと考えています。

高規格道路については、ゆずの集荷などの産業面についてのメリットがあることなど、高規格道路の利用の仕方について話題に上がりましたので、今後の要望活動に活かしていきたいと思っています。

答 教育長

教育委員会では子どもの遊び場、公園整備等を願う意見のほか、児童生徒数が減少する中で、子どもが村外へ出ていくことを止められるのかといったような、学校存続を危惧する意見もいただきました。子ども達の将来への色々な選択肢を視野に入れて、これから北川村の学校を選んでいただけるよう、保小中が一体となって魅力、特色ある学校づくりに努めていきたいと思っています。

問 直ぐにできる事、検討して行くことは何か。

鳥獣被害対策の対応について説明を求める。

答 住民課長

災害の時の粗大ゴミの処理については、対応済みです。また、小規模多機能施設の利用料金や利用方法については、検討中で、決まり次第お知らせします。

答 産業課長

サルの被害が多くなっており猟友会に出勤をお願いしているのと、サルの檻がないか検討しています。サルの被害対策については引き続き、課題意識を持って取り組んでいます。

問 今の保護者達の一番の願いは子どもを安心して育てたいということだと思ふ。医療費の無料化について18歳までの拡充を考えないか。

答 村長

教育関係に掛かる費用は、出来る限りの対応を順次図ってきています。

補助教員や放課後の地域学習など、色んな側面に対応してきております。

まだ不十分なところもあるかと思いますが、子ども達の医療費無償化についても今後教育改革をしていく中で、どの分野で費用が要り、どの分野をもっと効率的に整理し、どこへ充当するのかを検討して答を出したいと思っています。

ふるさと納税について

問 ふるさと納税の現状について問う。

答 村長

今年の4月から8月末までが、539件、寄付額が4,238千円です。

対前年比では件数で31%、金額35%で、

伸び悩んでいます。総務省から返礼率30%との指導があり、それが影響していると感じています。

問 ふるさとチョイス等による北川村へのアクセス状況を問う。

答 産業課長

北川村はふるさとチョイスと、楽天という2つのサイトで募集しています。

アクセス数は、昨年同期とほぼ同じです。昨年は、閲覧の19%が成約しましたが、今年は約3分の1以下に落ち、納税に結びついていません。

問 情報発信の内容を変えること、商品を生産して、いかにして納税額を増やすのか。30%というルールを今のまま守り続けるのか。どの様に考えるのか。

答 村長

30%については、総務大臣が報道で述べたとおり今後それを守っていくかというところはふるさと納税対象団体から外すと言われております。

行政は、法令遵守が、原則ですので、守るべきところは守り、商品化は、新しい物についてもきちっと企画提案していくことが大事だと認識しています。

この納税は、地方の大切な税収で、これを増やしていく努力をしていきたいと考えています。

林業振興と森林環境譲与税(仮称)について

問 平成31年度より森林環境譲与税が、5

年間前倒しで譲与される。

従来の林業に関する補助金と併せて、財源裏付けのある事業が31年度より実施する事が可能になります。この機会にゆずの振興と併せて村の林業振興を二大政策として、進めていくことが、有望な事業になると思われる。

今の段階での取り組み方、スケジュールについて問う。

答 村長

スタート時12,000千円、先々40,000千円が安定的に入ってきます。

今のところ、国や県から森林環境税の使途、所掌事務の内容について、具体的に示されていません。

森林が多い本村としては、これまで手つかずであった森林の整備を進める絶好の機会というふうには認識しておりますし、安定的な財源を活用して村産材の消費拡大へ結びつけて行くことが重要だと思っています。

現状におきましては限られた財源、人材の中でどの様な効果的な手を打って行くべきかは、森林組合等関係者を交え十分な議論をすべきだと考えています。

今後、国や県の情報を早期に掴み、他の自治体の動向も把握して対応策を検討してまいります。

問 林業に対する補助制度あるのに、林業事業が進まない現状をどのように考えるか。

答 村長

山林所有者にお金が残らないこと、山へ木を植え、手入れし、伐採して搬出し市場

で売るために補助金を使っても、山主にお金が残らないということが原因だと理解しています。

問 民有林の事業実績データは、あるか。

答 産業課長

現在、森林経営計画で、北川村管内では11箇所の工区が設定されています。

約1,500haくらいがエリアで、五年間で施工する計画です。その対象経営計画にある林地はその内数で伐採が毎年されています。150haから200ha位だと思います。

問 山主にお金を残す為には、村が出資している森林組合に対して、赤字にならないよう、販売を市場任せにせずに経費の圧縮や売上げ増などの経営改革を求めることが必要ではないか。

森林環境譲与税の使い方について、初年度、2年目、3年目、どこよりも早く用意をしていくという体制を是非、北川村の中で人の配置も含めて考えていただきたい。

答 村長

森林組合は国の補助、県の補助等々を使いながら、いかに山林所有者に利益還元ができるのかとの視点で、森林計画に基づいて伐採しています。

北川村としても山林所有者に利益を残すためにどんな方法があるのか、今回この森林環境譲与税等が、具体的に活用できるのであれば、北川村の中で消費還元できる、村産材を消費していける仕組みを検討するべきだと考えます。

： 議案審議 ：

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告について(報告第1号)

北川村教育委員会の自己点検・評価について(報告第2号)

字区域の変更について(議案第1号)

全員賛成 (可決)

北川村和田日浦地区における土地改良事業の計画について(議案第2号)

全員賛成 (可決)

北川村教育委員会委員の任命について(議案第3号)

教育委員会委員の任命について議会の同意を求めるものです。

北川村野友 濱渦 梨恵氏 39歳



濱渦 梨恵氏

全員賛成 (同意)

北川村固定資産評価審査委員の選任について(議案第4号)

固定資産評価審査委員の選任について議会の同意を求めるものです。

北川村長山 大西 一司氏 42歳

全員賛成 (同意)

北川村飲料水供給施設給水条例の一部を改正する条例について(議案第5号)

全員賛成 (可決)

平成30年度北川村一般会計補正予算(第5号)について(議案第6号)

歳入歳出それぞれ33,095千円を増額し、予算の総額を2,433,620千円とするものです。

全員賛成 (可決)

平成30年度北川村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について(議案第7号)

歳入歳出それぞれ584千円を増額し、予算の総額を229,685千円とするものです。

全員賛成 (可決)

野友石ノ内地区分譲団地宅地造成工事請負変更契約の締結について(議案第8号)

全員賛成 (可決)

平成29年度北川村一般会計歳入歳出決算の認定について(議案第9号)

全員賛成 (認定)

平成29年度北川村代替輸送特別会計歳入歳出決算の認定について(議案第10号)

全員賛成 (認定)

平成29年度北川村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について(議案第11号)

全員賛成 (認定)

平成29年度北川村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について(議案第12号)

全員賛成 (認定)

平成29年度北川村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について(議案第13号)

全員賛成 (認定)

平成30年

第3回議会臨時会

平成30年第3回議会臨時会は、10月31日に開会し、平成30年度北川村一般会計補正予算の専決処分の報告承認、平成30年度北川村一般会計補正予算についての議案の審議が行われました。

： 議案審議 ：

平成30年度北川村一般会計補正予算(第6号)の専決処分の報告承認について(承認第1号)

全員賛成(承認)

平成30年度北川村一般会計補正予算(第7号)について(議案第1号)

歳入歳出それぞれ71,504千円増額し、予算の総額を2,505,824千円と定める。

賛成多数(可決)

平成30年6月議会後の 岩垣議長行事等活動報告

6月21日(木)

中芸広域連合議会定例会
(結いの丘ドーム)

6月25日(月)

高知県町村議会議長会理事
事会(高知県自治会館)

6月26日(火)

平成30年度一般国道55号・
阿南芸芸自動車道整備促
進期成同盟会総会
平成30年度高知東部自
動車道整備促進期成同盟会
総会

7月5日(木)

安芸郡町村議会議長会中
央要望
(国土交通省、財務省、国会
議員中谷元他8名)

7月6日(金)

総務産業建設常任委員会
県外視察(熊本地震災害、
熊本市議会)

7月9日(月)

総務産業建設常任委員会
県外視察(九州北部豪雨
災害、朝倉市議会)

7月10日(火)

総務産業建設常任委員会
県外視察(九州北部豪雨
災害、朝倉市議会)

7月11日(水)

納涼祭実行委員会
(北川村役場)

7月19日(木)

高知県市町村議会議員
研修会
(高知県民文化ホール)

7月20日(金)

特別養護老人ホーム組
合臨時総会(愛光園)

7月23日(月)

直轄砂防中央要望
(国土交通省、財務省、
国会議員)

7月24日(火)

高知駐屯地中芸地区協
力会総会(奈半利町)

7月25日(水)

中芸地区交通安全会議
(奈半利町役場)

7月26日(木)

奈半利川一斉清掃
(高知市)

7月28日(土)

平成30年度中芸教育振
興協議会総会(田野町
ふれあいセンター)

8月1日(水)

高知県町村議会議長
会OB会(高知市)
書宗院展(東京都)
帰高

8月9日(木)

町村議会議長研修会及
び県政に対する意見交
換会(高知県自治会
館)

8月10日(金)

北川村社会福祉協議会
評議員会(北川村保健
センター)

8月11日(土)

北川村防災訓練
平成30年第2回議会
臨時会

8月21日(火)

敬老会
(北川村村民会館)

9月2日(日)

全員協議会、議会運営
委員会

9月4日(火)

9月8日(土)

9月11日(火)

9月11日(火)

1000 年・金・だ・より

～新成人の皆さんへ～ 20歳になったら国民年金

国民年金は、年をとったとき、病気や事故で障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、働いている世代みんなで支えようという考えでつくられた仕組みです。

国民年金は20歳以上60歳未満の方は加入することが義務づけられています。

20歳になったら、忘れずに国民年金の加入手続きをしましょう!

保険料を未納のまま放置すると、年金を受け取ることができない場合があります。
また、保険料には学生納付特例制度、納付猶予制度の他、免除制度があります。

国民年金のポイント

◆将来の大きな支えになります

国民年金は20歳から60歳までの方が加入し、保険料を納める制度です。
国が責任をもって運営するため、安定していますし、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

◆老後のためだけのものではありません!

国民年金には、年をとったときの老齢年金のほか、障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障害が残ったときに受け取れます。また、遺族年金は加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族(「子のある配偶者」や「子」)が受け取れます。

出張年金相談開設日程(南国)

12月 6日(木)10:00~12:00 / 13:00~15:00	安芸市総合社会福祉センター 予約制(南国年金事務所へ申し込み)
12月27日(木)11:00~12:00 / 13:00~15:00	室戸市役所 予約制(室戸市役所または南国年金事務所へ申し込み)

南国年金事務所における年金相談時間は下記のとおりです。

○平日の年金相談

- ・月曜日(月曜日が休日の場合は翌開所日になります)
8:30~19:00
- ・火曜日~金曜日 8:30~17:15

○週末の年金相談

- ・12月8日(第2土曜日)
9:30~16:00(通常の業務日より相談ブース数は若干少なくなっています)

年金相談の予約相談のお願い

年金相談・お手続きの際は、**予約相談**をご利用ください。

予約受付専用番号:0570-05-4890(ナビダイヤル)
受付時間:8:30~17:15(土日祝日及び年末年始を除く)

林業退職金共済制度(林退共)の 退職金請求について

林業の仕事に従事されたことがあり、当時、林退共制度に加入していた方、もしくは加入していたかも知れない方で、退職金請求手続きをしたお心当たりのない方は、お気軽に最寄りの支部又は本部へお問い合わせ下さい。

また、林退共事業本部では、被共済者の方に確実に退職金を受け取っていただくことを目的として、現況調査、アンケート調査を実施しておりますので、ぜひ調査にもご協力いただきますようお願い申し上げます。



問い合わせ先

独立行政法人勤労者退職金共済機構

林業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 ニッセイ池袋ビル

TEL 03-6731-2889 FAX 03-6731-2890

・詳しくはホームページでも掲載しております。

<http://www.rintaikyo.taisyokukin.go.jp/>



土佐愛蘭会 北川支部 蘭花展示会 受賞者発表

土佐愛蘭会北川支部 蘭花展示会が北川村村民会館で行われました。受賞者は次のとおりです。

無銘の部

優勝

サラサ

西山

周治

準優勝

青

山下

征彦



銘品の部

優勝

光星

有澤

政朋

準優勝

紫月

安養寺

仁

ご冥福をお祈りします

大寺 百合 84歳 野友 9月24日

氏名 年齢 地区 死亡月日

柚子の木も 人も古りたり 天辺に
見残し大玉 西陽に輝く
濱渦美恵子

柚子とりの 手をば休めて 見上ぐ空
一点の雲なく 碧さどこまで
社城 芳子

陽は落ちて 夕暮れせまる 我家には
物音ひとつ せぬ淋しさよ
大西 豊

若き日は 戦争味わひ 九十六歳
手足動かず 車椅子にて
大寺 一子

朝毎に 寒さ覚える 季となり
宮ののほりの はためき見ゆる
田村猪世子

尾根に見ゆ ああ奈半利川 山の裾を
蛇行しながら ひと幅の帯
濱渦 静子

短歌教室



保健だより



＋ かぜとは…＋

「かぜ症候群」をいわれ、咳、鼻水、くしゃみから症状がはじまります。

ウイルス感染により起こる病気で、原因となるウイルスは200種以上あります。

かぜに特効薬はなく、抗生物質は効かないため、免疫力で治すことになります。

病院で処方される薬は、症状を和らげるものや免疫力を高めるための漢方が主で、抗生物質が処方される場合は二次感染(中耳炎や肺炎等)の予防目的となります。

(免疫力とは…体内に入ってきた細菌やウイルスなどの外敵から身体を守る力のことです。)



＋ かぜにかかってしまったら…＋

体力を消耗してしまうので、無理をせず睡眠などでゆっくり休んだり、バランスの良い食事で栄養をとったりして、養生することが大切です。

ぐったりしていなければ入浴して構いません。サッと入り、湯冷めに気を付けましょう。

＋ かぜを予防するために…＋

- 手洗い、うがい、咳エチケット(くしゃみの飛沫を飛ばさないなど)に気をつけましょう。
- ふだんから免疫力を高める生活を送りましょう。



免疫力を高める5つの生活習慣

適度な運動

運動をすることは、健康状態を維持するとともに、免疫細胞であるナチュラルキラー細胞を活性化することができるので、免疫力を高めることができます。



質のよい睡眠

良質な睡眠をとると免疫細胞の働きが活発になり、免疫力が高まります。また、早寝早起きの習慣は時間に余裕が生まれ心身ともにリラックスすることもできます。



バランス食

1日3食、栄養バランスの取れた食事をきちんと毎日摂取することは、新しい細胞を作る源(みなもと)になります。



入 浴

体を芯から温めることで、血の巡りを良くし、体温を上げることで、免疫力を高めることができます。



笑 う

笑いがストレスに関連するホルモンを減少させ、免疫に関与するナチュラルキラー細胞の活動を調整すると言われています。まさに「笑う門には福来たる」です。



みどり保育所

PHOTO通信



地域の方と竹馬作り
10月17日(水)



お芋ほり
11月7日(水)



美化活動
11月7日(水)



行事予定表

事業	実施年月日	実施時間	実施場所・引き取り場所
乳児健診	12月5日(水)	(受付)12:45~13:30	奈半利町保健センター
1歳6カ月・3歳児健診	12月19日(水)	(受付)12:45~13:30	奈半利町保健センター
野友介護予防教室	12月6日(木)・13日(木)・20日(木)・27日(木)	10:00~	北川村保健センター
加茂介護予防教室	12月7日(金)・14日(金)・21日(金)・28日(金)	10:00~	北川村農業センター
久府付介護予防教室	12月5日(水)・12日(水)・19日(水)・26日(水)	10:00~	北川村農村婦人の家
柏木・崎山介護予防教室	12月6日(木)・13日(木)・20日(木)・27日(木)	13:30~	柏木交流センター
野川さくら会	12月5日(水)・12日(水)・19日(水)・26日(水)	9:30~	野川交流センター
長山せせらぎ会	12月4日(火)・11日(火)・18日(火)・25日(火)	9:30~	長山交流センター
宗ノ上介護予防教室	12月6日(木)・13日(木)・20日(木)・27日(木)	13:30~	宗ノ上集会所
中部けんこうクラブ	12月7日(金)・14日(金)・21日(金)・28日(金)	9:00~	小島集会所
小川ふれんど	12月18日(火)	10:30~	菅ノ上集会所
島バラ会	12月20日(木)	10:00~	北部集会所
べちゃくちゃ会	12月5日(水)	10:00~	北川村保健センター
親子ふれあい広場	毎週木曜日	9:00~16:00	北川村保健センター
ゆずみどり	毎週木曜日	9:00~	北川村保健センター